第1章　もっと使える便利な機能

■ ここで説明すること

AirStationの設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

1.1　通信環境を設定する

1.2　セキュリティを強化する

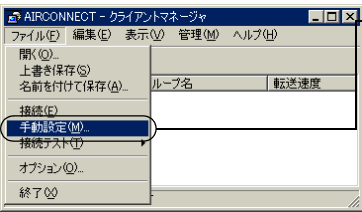
1.3　各種設定の変更と確認

1.1 通信環境を設定する

■ AirStation の設定画面を表示する

AirStation の設定画面は、以下の手順で表示できます。

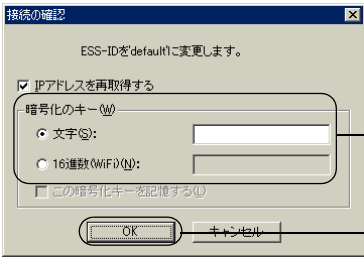
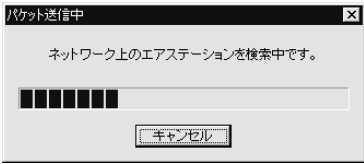
1 **お使いの Windows に応じて以下を参照して、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。**

お使いの OS を確認する時は、別冊「無線 LAN スタートガイド」の「1.1 あらかじめ確認してください」を参照してください。

WindowsMe/98/95 の場合：

別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 2 章　WindowsMe/98/95 編」の「Step 3 設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールする」

WindowsXP/2000/NT4.0 の場合：

別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 3 章　WindowsXP/2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールする」

2 **［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。**

3 **1 選択**　［ファイル］－［手動設定］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いの場合は、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 6 へ進みます。

4

1 選択　「エアステーション経由通信(11Mbps)」を選択します。

2 入力　ESS-ID を入力します。（出荷時設定：default）

3 クリック　［OK］をクリックします。

5

「暗号化キー」に設定した暗号キーを入力します。
（出荷時設定の場合は、空欄にします。）

[OK] をクリックします。

6

AirStation の検索が始まります。

7

AirStation が表示されます。

8

検索された AirStation を選択します。

[管理] − [エアステーション設定] を選択します。

9

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 4 章 困ったときは」の「設定画面が表示されない」を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

■ ローミング機能を使う

ローミング機能を使用すると、部屋から部屋への移動の際、AirStation の接続設定をする手間なく、自動的に複数の AirStation を切り換えることができます。

ローミング機能の設定は、以下の手順でおこないます。

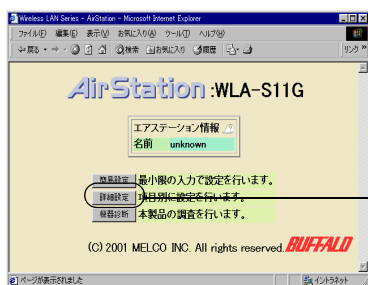
⚠注意　ローミング機能の設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。無線 LAN パソコンから設定すると、AirStation に接続できなくなります。この場合は、別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 4 章　困ったときは」「無線 LAN パソコンから設定後、AirStation に接続できなくなった」を参照してください。

メモ
- AirStation とローミングが可能な他社製無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。
- ローミング機能を有効にしているときは、無線チャンネルが異なっていてもローミング可能です。
- WEP 機能を使用するときは、ローミングをおこなうすべての AirStation と、アクセスポイントの WEP を同じ設定にしてください。

AirStation の設定

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2　1 クリック　［詳細設定］をクリックします。

3

ESS-ID：
ローミングする他の AirStation と同じ ESS-ID を入力します。

［設定］をクリックします。

4 以後は画面の指示に従ってください。

無線 LAN パソコンの設定

1 無線 LAN パソコンから［スタート］－［プログラム］－［MELCO　INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。

2

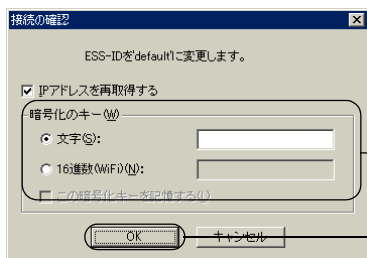
［ファイル］－［手動設定］を選択します。

3

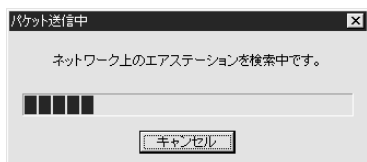
「エアステーション経由通信(11Mbps)」を選択します。

「AirStation の設定」の手順 **3**（P7）で入力した ESS-ID を入力します。

［OK］をクリックします

4

1 入力　「暗号化キー」に設定した暗号キーを入力します。
（出荷時設定の場合は、空欄にします。）

2 クリック　[OK] をクリックします。

5

ESS-ID の変更後、AirStation の検索が始まります。

6

AirStation に接続できたことを確認してください。

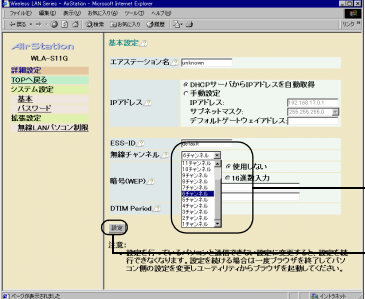
メモ　ローミングで通信可能な AirStation は、灰色のアンテナが表示されます。

■ AirMac 対応パソコンから AirStation に接続する

AirMac 対応パソコンと Windows パソコンでファイル共有するには、ファイル共有をサポートするソフトウェア（例：ウィニングラン・ソフトウェア株式会社製 DAVE 等）を使う方法があります。

メモ　共有させる設定方法については、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルを参照してください。

AirMac 対応パソコンから AirStation に接続するには、次の手順でおこないます。ここでは、MacOS8 での手順を説明します。

メモ　作業をおこなう前に、AirMac 対応パソコンに AirMac ソフトウェアをインストールして、AirMac が使用できることを確認してください（インストール手順は、AirMac 添付のマニュアルを参照してください）。

1　設定用パソコン（Windows パソコン）から AirStation の設定画面を表示します。

▶参照　「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照してください。

2　［詳細設定］をクリックします。

3　「暗号（WEP）」欄が「使用しない」になってることを確認します。

4

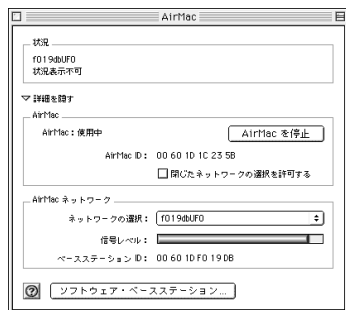
「無線チャンネル」欄を、「1 チャンネル」〜「13 チャンネル」のいずれかに変更します。

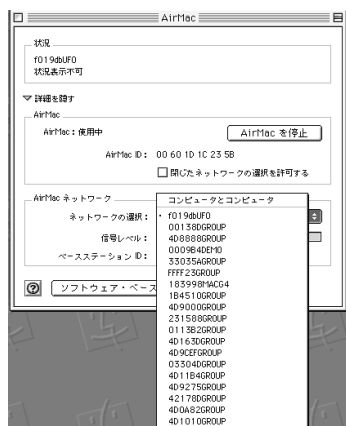
［設定］をクリックします。

5　「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。

6　左上にある「TOP へ戻る」をクリックします。

7　［機器診断］をクリックします。
「ESS-ID」欄に表示されている、AirStation の ESS-ID をメモします。

8

AirMac 対応パソコンを起動して、「メニューバー／アップルメニュー」－「AirMac」を選択します。AirMac の設定ツールが起動します。

9

「AirMac ネットワーク」の「ネットワークの選択」欄のプルダウンメニューから、手順 7 で確認した AirStation の ESS-ID を選択します。

1.2 セキュリティを強化する

■ 無線 LAN パソコンからの接続を制限する

無線 LAN パソコンから AirStation への接続を制限するには、以下の手順で設定をおこなってください。

この設定をおこなうと登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

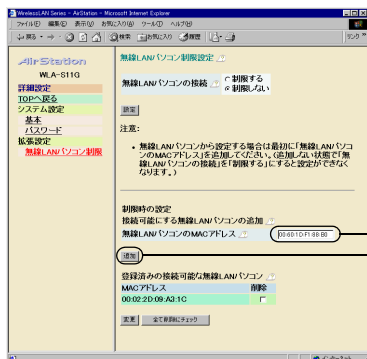
1　「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3　「無線 LAN パソコン制限」をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4

「無線 LAN パソコンの MAC アドレス」欄に接続可能にする無線 LAN パソコンの MAC アドレスを入力します。

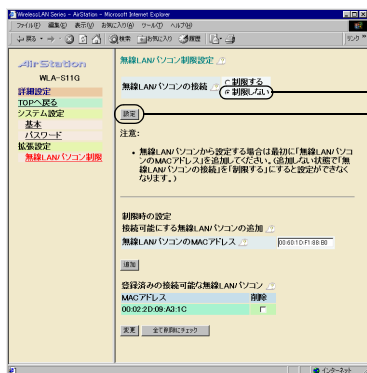
［追加］をクリックします。

- 無線 LAN パソコンの MAC アドレスは、無線 LAN パソコンに添付のマニュアルを参照してください。
- MAC アドレスを入力するときは、2 桁ずつコロン（:）で区切って入力してください。

5 「MAC アドレスを追加しました」と表示されたら、［戻る］をクリックします。

「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄に、追加した MAC アドレスが表示されます。

登録できる MAC アドレスは 256 個までです。

6

「無線 LAN パソコンの接続」欄で「制限する」を選択します。

［設定］をクリックします。

無線 LAN パソコンから設定をおこなう場合は、「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」に無線 LAN パソコンが登録されていることを確認してから、［設定］をクリックしてください。登録する前に設定を行った場合は、「AirStation の設定を出荷時設定に戻す」（P21）を参照して出荷時設定に戻してください。

7　「設定を完了しました」と表示されます。「戻る」をクリックします。

以上で、「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄に登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

メモ　登録した MAC アドレスのパソコンを使用不可にするときは
「登録済みの接続可能な無線 LAN パソコン」欄で、該当する MAC アドレスの「削除」をチェックして、[変更] をクリックします。

■ WEP（暗号化）機能でセキュリティを強化する

WEP 機能で無線パケットを暗号化することにより、外部からの無線パケット解析を防ぎます。以下の手順で AirStation を設定します。

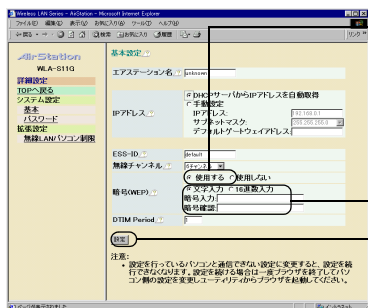
メモ
- WEP 機能を使って AirStation と通信できる無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。
- WEP を設定した場合は、Macintosh※と通信することができません。
※ AirMac の WEP 機能とは互換性がありません。

1　「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

[詳細設定] をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

3

1 選択　「使用する」を選択します。

2 入力　「暗号（WEP）」欄に暗号キーを入力します。
また、「暗号確認」欄にも再度同じ文字列を入力します。

3 クリック　［設定］ボタンをクリックします。

暗号キーは「文字入力」（5 文字または 13 文字）と「16 進数入力」（10 桁または 26 桁）を選択することができます。
文字入力を選択した場合、暗号キーは半角英数字または半角アンダーバー"_" を含む 5 文字または 13 文字の文字列で入力してください。

4　「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

⚠注意　無線 LAN パソコンから WEP 機能の設定をすると、AirStation に接続できなくなります。その場合は、以下の手順で AirStation に接続しなおしてください。

5　［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。

6　［ファイル］－［手動設定］を選択します。

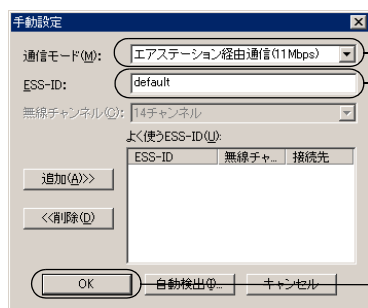
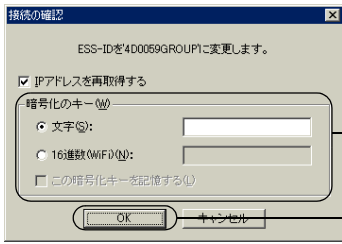
7

1 選択　「エアステーション経由通信（11Mbps）」を選択します。

2 入力　ESS-ID を入力します。

3 クリック　［OK］をクリックします。

8

接続の確認
ESS-IDを'4D0059GROUP'に変更します。
☑ IPアドレスを再取得する
暗号化のキー(W)
◉ 文字(S):
○ 16進数(WiFi)(N):
☐ この暗号化キーを記憶する(L)
OK　キャンセル

1 入力　手順 3 で設定した暗号キー（WEP）を入力します。

2 クリック　［OK］をクリックします。

以上で、設定は完了です。

すべての無線 LAN パソコンから、AirStation に接続できることを確認してください。

■ 複数の AirStation をグループ分けする

同じフロアに AirStation が複数台ある環境において無線 LAN パソコンが通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、それぞれの AirStation が同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークが、異なる周波数（無線チャンネル）を使用するように設定（グループ分け）することで、他の無線 LAN ネットワークに影響を与えることなく通信できます。

無線チャンネルを変更してグループ分けをする場合は、以下の手順でおこないます。

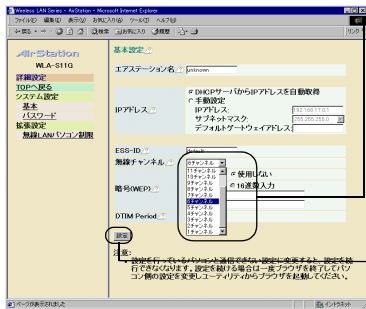
1　「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

1
もっと使える便利な機能

3

1 選択　「無線チャンネル」欄で、AirStationに設定する無線チャンネルを選択します。

2 クリック　［設定］ボタンをクリックします。

4　「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

メモ
- 隣り合ったチャンネルなど近い周波数では、互いに干渉してしまうことがあります。干渉しないようにするには、4 チャンネル以上間隔をあけてチャンネルを設定してください（無線チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干渉をおこすことがあります）。
- AirMac 対応パソコンと通信するときは、無線チャンネルを「1 チャンネル」～「13 チャンネル」に設定してください。

1.3 各種設定の変更と確認

■ 設定画面のパスワードを設定する

AirStation の設定画面のパスワードを設定するには、以下の手順をおこないます。

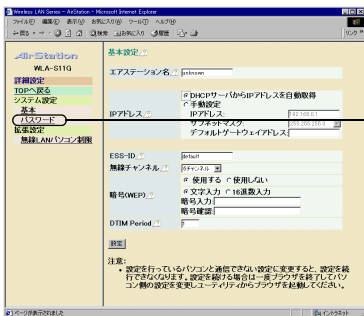
1 「AirStation の設定画面を表示する」（P4）を参照して、AirStation の設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

1 クリック

［パスワード］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4

1 入力　「新パスワード」欄に新しいパスワードを入力します。

2 入力　「パスワード確認」欄に再度パスワードを入力します。

⚠注意　現在パスワードが設定されていても、この画面ではパスワード欄が空欄となります。パスワードを変更しない場合は、［設定］をクリックしないでください。空欄のままで［設定］をクリックすると設定されているパスワードが消去されます。

メモ　パスワードとして入力できるのは、半角英数字と ″_″（アンダーバー）の組み合わせで、最大 8 文字までです。大文字小文字は別の文字として認識されます。
パスワードを忘れてしまった場合は、AirStation の出荷時設定スイッチを押すと、出荷時のパスワードに戻すことができます。ただし、パスワード以外の設定もすべて出荷時設定に戻ります。
出荷時設定スイッチについては、別冊『ご使用になる前に必ずお読みください』の裏面「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

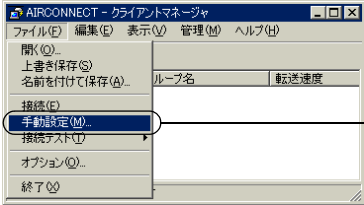
メモ　パスワードを設定すると、設定画面のメニュー選択時にネットワークパスワードの入力画面が表示されますので以下のように入力します。

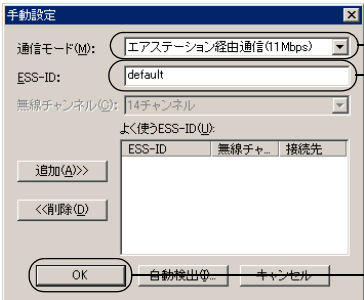
ユーザー名　:「root」を入力します。
パスワード　: 設定したパスワードを入力します。

［OK］をクリックします。

■ AirStation の IP アドレスを確認する

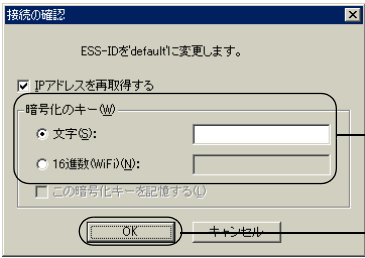
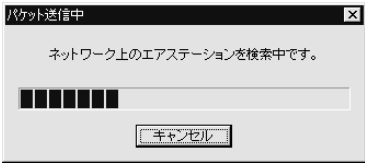
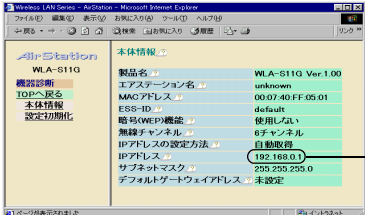
以下の手順で AirStation の IP アドレスを確認できます。

1 お使いの Windows に応じて以下を参照して、設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールします。

WindowsMe/98/95 の場合：

別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 2 章　WindowsMe/98/95 編」の「Step 3 設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールする」

WindowsXP/2000/NT4.0 の場合：

別冊『無線 LAN スタートガイド』の「第 3 章　WindowsXP/2000/NT4.0 編」の「Step 3　設定用パソコンにクライアントマネージャをインストールする」

2 ［スタート］－［プログラム］－［MELCO INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。

3 1 選択　［ファイル］－［手動設定］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、［編集］－［エアステーション検索］をおこなったあと、手順 5 へ進みます。

4

1 選択　「エアステーション経由通信(11Mbps)」を選択します。

2 入力　ESS-ID を入力します。

3 クリック　［OK］をクリックします。

5

「暗号化キー」に設定した暗号キーを入力します。
（出荷時設定の場合は、空欄にします。）

[OK] をクリックします。

6

AirStation の検索が始まります。

7

検索された AirStation を選択します。

[管理] − [エアステーション設定] を選択します。

8

[機器診断] をクリックします。

9

「IP アドレス」欄に AirStation の IP アドレスが表示されます。

■ AirStation の設定を出荷時設定に戻す

1 AirStation が動作していることを確認します。

2 AirStation の出荷時設定スイッチを 5 秒以上押し続け、Wireless ランプが消灯したらスイッチを離します。出荷時設定にリセットされます。

メモ　出荷時設定スイッチについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

■ 電波状態を確認する

無線LANパソコンとAirStation間の電波状態を確認するときは、以下の手順でおこなってください。

1　無線 LAN パソコンから、［スタート］－［プログラム］－［MELCO　INC］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。

2　［ファイル］－［接続テスト］－［診断］を選択します。

アンテナマーク（▼）のついているAirStationの接続テストをおこないます。

3

接続状態を確認してください。

4

接続テスト結果が表示されます。
接続テスト結果の説明は次ページを参照してください。

接続状態		電波状態	
	最適		最適
	良好		良好
	悪い		問題あり
	最悪		悪い
		圏外	通信不可

接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して、診断結果が表示されます。

良好：総合的に問題ありません。　　不適合：不安定な状態であることを示します。

診断結果が不適合の場合は以下の対策を試みてください。

1. 無線 LAN パソコンを AirStation に近づけます。（ただし、30cm 以内に近づけないでください）
2. AirStation の位置を変更する。
3. AirStation と無線 LAN パソコン間の見通しをよくします。
4. AirStation、無線 LAN パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。